

勝つぞ！全国大会

美作市を拠点とする中学生の硬式野球チーム「美作ボーイズ」が第7回全日本中学生野球選手権大会ジャイアンツカップ(10、14日、東京など)、江見小学校(同市江見)の児童が所属する江見スポーツ少年団が「第27回全日本小学生女子ソフトボール大会」(3、6日、奈良県)にともに初出場する。両チームとも「一つでも多く勝ちたい」と連日練習を重ねている。(亀井良平)



中学・硬式野球 美作ボーイズ

美作ボーイズは7月上旬、各地区の予選を勝ち抜いた8チームが出場して鳥取県で開かれた同選手権大会の中四国決勝大会に出場。1回戦で強豪の大洲ボーイズ(愛媛県)を延長の末、3-2で

一つでも上を目指す

下し、準決勝は島根県のチームに3-0で快勝。決勝は米子ボーイズ(鳥取県)を7-0で破り、全国大会の出場権を獲得した。

同選手権は美作が所属するボーイズリーグのほか、ヤング、シニアなどの少年硬式野球リーグから計32チームが出場。トーナメントで覇を争い、決勝は東京ドームで行われる。近づく大会に向け、美作、津山市、美咲町の1、3年生約20人は美作市大町の勝田総合運動公園で週4回練習。バッティングマシンでの打ち込みやバント練習などで攻撃力のアップを図っている。

仲井勝徳監督(46)は津山市堀坂IIは「全国の強豪に粘り強い戦いで挑みたい」、主将の津山東中3年寺口昂太郎君(15)は「盗塁やエンドランなど機動力を生かして一つでも上を目指す」と意欲を燃やしている。

たくさん打ちたい

女子ソフト 江見スポーツ少年団



岡山県代表と対戦。今春、初めて出場した全国大会では1勝もできず、以降、関西地方の強豪チームと練習試合を繰り返すなど、全国レベルを目指して力を付けてきただけに、副主将の6年寺師七夏さん(12)は「チームワークの良いチーム。たくさん打って一つでも多く勝ちたい」と意気込む。

山本邦彦監督(37)も「実力はあるチームなので1回戦を勝てば勢いに乗れる」と期待している。

岡山市で行われた県予選は岡山、津山、美作、赤磐市などの9チームが出場。江見スポーツ少年団は決勝進出までの3試合を全て10点以上の大差で圧勝した。

決勝は岡山リトルエンゼルス(岡山市)に0-1で惜しくも敗れたものの、全国大会の出場権を獲得した。

大会は全国の48チームがトーナメントで頂点を目指す。同少年団は1回戦

◆勝田郡小学校児童水泳記録会(25日・奈義町B&G海洋センター) 1位記録	【男子】50メートル自由形 森木蘭(神目) 41秒1	【女子】50メートル自由形 青木(神目) 41秒1
◆久米南町児童水泳記録会(25日・真庭市宮久世) 1位記録	【男子】50メートル自由形 原田大地(天津) 31秒5	【女子】50メートル自由形 池田早希(弓削) 2分12秒1
◆久米南町児童水泳記録会(25日・弓削小プール) 1位記録	【男子】50メートル自由形 平尾翼(弓削) 42秒6	【女子】50メートル自由形 下花菜(天津) 34秒0
◆久米南町児童水泳記録会(25日・弓削小プール) 1位記録	【男子】50メートル自由形 平尾翼(弓削) 42秒6	【女子】50メートル自由形 下花菜(天津) 34秒0

工期中の安全 関係者が祈願

旭川荘真庭療育センター

真庭市湯原温泉の旧同センターは、同市湯原温泉病院跡地に来内初となる重症心身障害児・者の支援事業を春開設を目指して建設する「旭川荘真庭療育センター」(仮称)の安全祈願祭が31日、建設予定地であり、関係者が工期中の無事故を祈った。



工事中の無事を願った安全祈願祭

60平方メートルの総称。旭川荘などの約50人が出席。関係者がくわ入れを行った後、(岡山市北玉串を奉納。同法人の江草安彦名管理理事長が約50年前に湯原に子ども診療に来ていたことが同法人創立のきっかけになったと述べ、「真庭は人の心を癒やすところ。一層の発展を願っている」とあいさつした。(三島翔)

「卵かけご飯」など卵をキーワードにしたまちおこしに取り組み美咲町は、町内各所に展示する卵形オブジェのデザイン案を小中高生から募っている。

卵形オブジェ

「幸せのエッグデザインコンテスト」と銘打ち、作品テーマは「世界にひとつ、私だけのたまご」。小学生、中学生、高校生の3部門で、A3判以下の紙に自由な発想で描いてもらう。画材は絵の具やクレヨン、色鉛筆など問わない。卵形オブジェは、卵の黄身を思わせる黄色い「幸福(幸福)のレンガ」を使用し、縦30センチ、横25センチ、重さ15キロ。グランプリ(1点)など受賞者28人のデザイン案を基

幸せのデザイン寄せて



美咲町がデザイン案を募っている卵形オブジェ

小中高生に美咲町 受賞作は町内に展示

に、川崎医療福祉大(倉敷市)医療福祉デザイン学科生がオブジェにペイントし、町内の観光スポットなどに展示する。

コンテストは昨年に続き2回目。表彰式は10月20日に町内である「たまごまつり」で行い、受賞者に(町原田)前などに並んでいる。

◆三代で料理や七夕催し

久米南町龍山地区福祉のまちづくり推進協議会が主催する「三代料理教室と七夕祭り」が28日、同町中野のふれあい交流館で開かれ、同地区の家族連れら約100人が多彩な催しや手作りの料理を楽しんだ。

会場には高さ約4メートルのササ飾りが3本用意され、子どもたちが「ケーキ屋さんになりたい」「将棋が強くなれますように」などの願いを記した短冊を飾り付けた=写真。神目小3年山本悠靖君(9)は「一番高いところに飾った。願いがかなうといいな」と話していた。

子どもたちは地域の栄養委員と調理した七夕団子などを味わったほか、スイカ割り、シャボン玉飛ばしなどの催しもあった。

◆家庭介護のこつ学ぶ

県介護福祉士会は30日、西粟倉村坂根の坂根公民館で家庭介護教室を開き、住民ら10人が排せつや食事の介護のこつを学んだ。

◆中学生らツツジ園草刈り

剣豪・宮本武蔵の生誕地とされる美作市宮本の「武蔵の里鎌坂峠ツツジ園」で27日、地元住民と中学生計約70人が草刈りを行った=写真。

大原地区住民でつくる「鎌坂峠ツツジ園の会」の約30人と大原、美作、作東中の生徒約40人が参加。鎌や草刈り機を使い、約2時間かけて遊歩道などに茂った雑草を刈り取った。美作中2年藤森諒君(13)は「お年寄りだけで草刈りするのは大変だと思い参加した。きれいになって良かった」と話していた。

約80分の同園には20種類約2000本のツツジが毎年5月ごろ咲き誇る。草刈りは同会が中心となり年3回行っている。

◆小中学生が英語で昔話

奈義町内の英語教室に通う奈義小、中

作州ワイド版

みまさか・まにわ

